

数学科 中学校 1年

単元名「文字の式」
—関係を表す式—第13時

本時の流れ

本時の目標

○等式から関係を読み取り、日常生活の場面に当てはめて考える。

本時の目標把握

- ・本時の目標を理解する。

【目標】

等式から関係を読み取り、文章に表そう

等式から関係性を読み取らせ、日常生活の場面を考えさせる。

基礎の復習

- ・文字式が表しているものを、言葉で表現する練習をする。

【課題①】

ある博物館の入館料は、大人が x 円、子どもが y 円である。
「 $2x + 3y$ 」は、何を表していますか。

- ・ $2x$ と $3y$ を別々に考えさせ、問題文が表している状況と文字の式のつながりを意識させる。
- ・視覚的に考えさせやすい状況設定であるので、図や絵を使った板書で理解を促す。

課題把握と解答

- ・課題②を把握し、解答を求める。

【課題②】

リンゴ1個の値段が a 円、みかん1個の値段が b 円の時、
「 $6a + 4b = 1040$ 」がどういう状況を表しているか考え、
文章にきなさい。

- ・ $6a$ 、 $4b$ を個別に考えさせることにより、両辺の単位をはっきりとさせ、両辺が表しているものが何であるか考えさせる。

課題把握

- ・課題③を把握する。

【課題③】

$2x + 3y = 420$
この等式を現実場面に当てはめて考え、文章に表しなさい。

考えの表現<個人>

- ・等式から日常生活の場面を想像し、自分の考えをノートに書く。

- ・ x や y 自体が何を表しているかを書かないと、 $2x$ や $3y$ が何を表しているか分からないことに気付かせ、文字の定義の必要性を感じさせる。
- ・等式の両辺は同値なので、それぞれが表しているものの単位がそろっているか注意させる。

他者からの気付き<グループ>

- ・各自の考えを交流し、日常生活の場面をしっかりと伝えられるように、全体に発表する

活用の力を育てる評価の視点

学習のまとめ

- ・評価問題を解く。
- ・本時を振り返る。

- ・等式と日常生活の場面を結びつける。(思考)
- ・自分の考えを明確にし、全体に説明できる。(表現)

HOME

単元の流れへ

評価問題

CLICK